

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス あすなろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			1F・2Fに分けて活動したり、机の大きさや配置を毎日工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		階段はあるが、使用の際はスタッフが下側につく配慮をしている。	・2F建てで仕方ない所があるが出来る限りの事は行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			会議等で共有している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2			・公開しているが認知度が低いと思う為、改めて周知を行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	1		・まずは法人内の他事業所による外部評価を行い、改善につなげる。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1			・委員会や研修を積極的に行い、専門的な知識を深め質の向上に努める。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			プログラムミーティングを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1			・プログラムが固定化しない様、話し合いをし、どんなプログラムを行うのか話し合いをする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1			・より細かく設定し質の良い支援を行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			全員で話しやすい機の配置を行い毎日行っている。朝礼の実施。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			全員で話しやすい機の配置を行い毎日行っている。終礼の実施。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			記録を取り、次回のプログラムにいかしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7					

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	2		・医療的ケアの必要な児童の受け入れが難しい為、行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5			・基本的には中高生が利用されている為、保育園等と連携を行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3			・必要に応じて連携を行っている。より連携を取っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		エルム大阪などの研修に参加している。	・職員に外部の研修に積極的に参加してもらう。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	3		・他デイとの交流があるが、公園等で障がいのない子供と交流できる場を提供する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			自立支援協議会児童部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			日々の送迎時や電話などで行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1			・保護者様へのペアレントトレーニングや情報提供、相談を受ける事が出来るよう一人一人の職員が積極的に研修を受け、知識をつける。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	4		・より良い保護者様との連携、保護者様同士の連携を行えるよう方法を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			すぐに全員に周知し改善策を話している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月、新聞の作成、配布を行っている。	・ホームページの有効な活用方法を考え、活用する。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	4		・今現在招待などは行っていないため 今後は地域に開かれた運営を行って行く。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		事業所、送迎車全てに緊急時のマニュアルを置いている。災害・感染症委員会の設置を行っている。	・委員会の定期開催を行い、周知をしっかりとする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		全児童・職員が訓練を行えるよう、様々な曜日で行っている。災害・感染症委員会の設置を行っている。	・委員会の定期開催を行い、訓練を定期的に行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		虐待防止委員会の設置を行っている。	・委員会の定期開催を行い、研修を定期的に行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	1		説明を行い、ケース記録に記載はあるが不十分なため必要な場合個別支援に記載を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1			・年度ごとに取り直しを行い、情報の更新をする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			全員確認し、確認サインを行っている。	